

中富デイサービス

利用者がより良い在宅生活を維持できるよう、家族との連携を大切に
して通所介護サービスを提供してい
ます。

入浴に関しては、機械浴・普通浴
の介助を行い、ゆっくりとくつろげ
る雰囲気づくりに心がけています。

ぜひ、見学にお越しください。お
待ちしております。



身延生きがい広場

今年度3度目の外出行事で市川三郷町の小野さ
ん宅のあじさいを見てきま
した。その後は富士川町の
オギノへ行って買い物を楽し
しました。手芸では季節
を感じる風鈴を作りました。



下部生きがい広場

生きがい広場では、介護保険を使わずに自分らしく元気に過ごせるよう、指先
を使った作品づくりや転倒防止のための体操など
を取り入れて介護予防に努めています。

日中に一人で過ごされる時間が多い方、出かけ
ることが少なくなった方などは、ぜひ一度体験し
てみませんか？外出行事もあります。



道の駅 富士川にて

身延町すこやかクラブ

6月6日から6月9日の期間で、いきいきねりんピック
2019「山梨県シルバー作品展」が山梨県防災新館1階
「オープンスクエア」で開催されました。身延町からは、
洋画の部に西嶋の望月明敏さん、工芸の部に梅平の佐野
恵子さんが出展をしました。

6月11日に身延町すこやかクラブ定期総会を身延地区
公民館下山分館において開催しました。本年度は役員改
選があり、次の方々が選任されました。

会 長 日向偉夫さん（車田）
副会長 若林 栄さん（下田原）
副会長 山内惟治さん（下山）

共同募金会

テレビアニメ『ゆるキャン△』とコラボレーションし
た事業として、寄付お礼用クリアファイルを峡南地区5
町が協力して制作しました。

身延町では、このクリアフ
ァイルを滝庵キャンプ場・下部薬
局・常幸院の3箇所に募金箱と
共に設置させていただき、町内
外の多くの方々からたくさんの
寄付をいただくことができました。
ご協力本当にありがとうございました。



生活支援体制整備事業（第2層地域支え合い協議会）（身延町委託事業）

この事業は、少子高齢、人口減少が著しい身延町の今後の町づくりの一つの方向性として、地域住民等が連携して高
齢者等の日常生活を支援するための仕組み（体制）を作ることを目的とするものです。（社協は第2層の生活支援コーデ
ィネーターを委託されています。）

「どうやったら住みよい地域になるだろう」と町民同士が話し合う場として、平成30年11月に「身延町地域支え合い
協議会」を立ち上げました。今年度は、各地域に出向いての説明会も12箇所で開催されました。集落での説明会も始ま
っています。「支え合い協議会」は誰でも参加できます。「支え合いの地域づくり」に興味のある方は、ぜひ社協
（0556-62-3773）までお声がけください。

社協お問い合わせ先

事務局・ボランティアセンター・身延生きがい広場・
居宅介護支援事業所・訪問介護事業所
身延町波木井 272-1（身延福祉センター内）
☎0556-62-3773
中富デイサービス
身延町切石 117-1（中富すこやかセンター内）
☎0556-48-8058
下部生きがい広場
身延町常葉 1093
☎0556-20-3023

町民の皆さんのご意見をお待ちしています。

より多くの町民の皆さんの声がいただけるよう、身延町
社会福祉協議会では「ご意見箱」を設置しています。
中富すこやかセンター内の入口付近に設置して
ありますので、お気軽に声をお寄せください。
また、HPからもお気軽にお問い合わせいた
けますので、ご利用ください。

⇒「身延町社会福祉協議会」で検索してください！

社協だよりの「感想」お待ちしております。




みのぶ 社協だより

編集／発行

社会福祉法人 身延町社会福祉協議会
〒409-2523 南巨摩郡身延町波木井 272-1
TEL 0556-62-3773
FAX 0556-62-3777
HP: <http://www.minobushakyo.jp/>
令和元年 8 月 30 日発行（vol.29）

会長挨拶

身延町社会福祉協議会



会長
樋川 賢三

町民の皆様にはご健勝にてお過ごしのこと
と思います。

身延町社協では、この度役員改選が行な
われ、会長以下、下欄に紹介する方々が選
任されました。

理事・評議員をはじめ職員全員が今お
か
れてる立場を充分理解し、町民一人ひと
りと手を携えてその使命を果たしていく決
意であります。

社協は、先に提示させていただいた向こ
う三年間の地域福祉活動計画に沿って事業
を推進してまいります。目指す先には「住
民が安心して暮らせる社会、福祉コミュニ
ティづくり」があると思います。

町の福祉行政の一翼を担う組織として、
社協に携わる者すべてが志を一つにして事
業に取組み、町民の福祉向上の為に全力を
尽してまいりたいと思います。

役員紹介

身延町社会福祉協議会の役員には次の方々が
選任されました。よろしくお願いいたします。

任期 令和元年六月十三日から
令和三年度定時評議員会終結まで

役職	氏名	選出区分	住所
会長	樋川 賢三	民生委員	日向南沢
副会長	土橋 一彦	地域住民	飯富
理事	小林 宮子	地域住民	丸滝
	深沢 道康	地域住民	上田原
	遠藤 一夫	地域住民	上之平
	伊藤 文雄	地域住民	下田原
	廣島 法明	地域住民	下山
	深沢 良人	民生委員	三沢
	牛腸 大岳	民生委員	和田
	木内 孝明	福祉団体	横根中
	佐野 千恵	福祉団体	常葉
	秋山 裕一	民間施設	常葉
	佐野 一雄	民間施設	梅平
	熊谷 司	行政代表	切石
	赤池 義明		西嶋
監事	中村 京子		波木井

（敬称略）

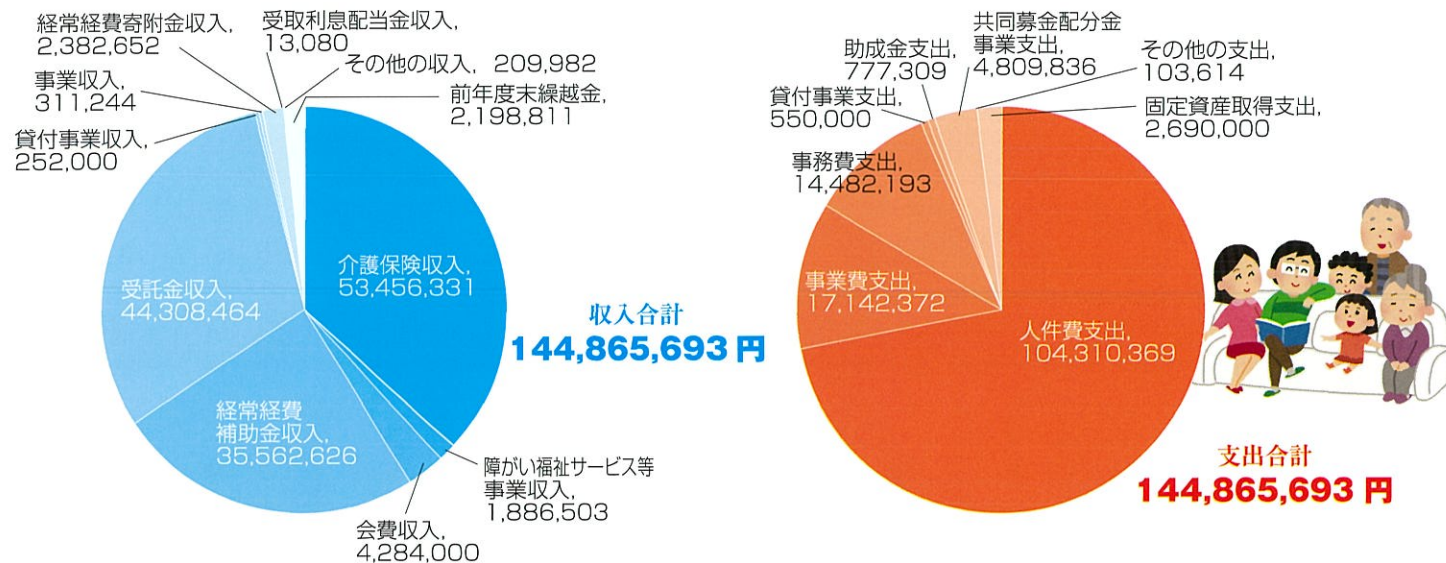
本年度の計画・予算がまとまりました

- 平成30年度決算と令和元年度予算
- 基本方針
- 令和元年度事業計画
- トピックス

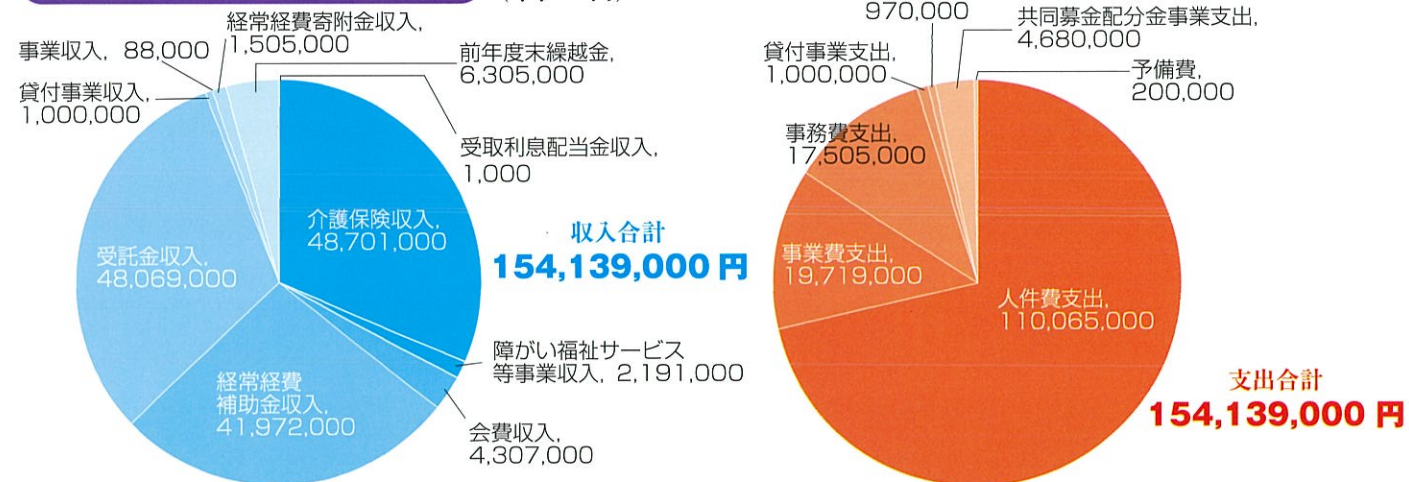
夏号
Vol. 29
2019

この社協だよりは皆様の共同募金の一部で発行しています。

平成30年度 決算 (単位：円)



令和元年度 予算 (単位：円)



令和元年度 身延町社会福祉協議会 基本方針(要約)

住民の多様なニーズすべてを公的福祉サービスで対応することは不可能です。地域社会で支援を求めている人に住民が気付き、相互に支援活動を行う地域住民の繋がりを再構築し、「支え合う体制」を実現させることが喫緊の課題です。地域における身近な生活課題に対応する「新たな支え合い」を進めるための協議が本会に課された重要な役割となります。

誰もが住み慣れた地域で家族や友人、地域住民とともに心豊かで健康的な生き生きとした生活ができる福祉社会の実現に向け、次のことを基本方針として令和元年度の事業を推進します。

- 地域における「新たな支え合い」を求めて、行政と住民の協働による地域福祉の構築に努めます。
- 公的福祉サービスでは十分に対応できない地域における身近な生活課題に対応するための地域福祉の在り方を協議します。
- 運営している介護保険3事業（居宅介護支援、通所介護、訪問介護）については、効率的かつ効果的な事業運営に努め、質の高い福祉サービスを提供します。
- 町の受託事業や補助事業を積極的に展開します。

事業推進体制及び経営基盤の強化

社協の事務局体制の充実強化を図るとともに、事業等の共通理解を深めるための役職員による研修会等を実施します。

また、事業推進に向けた経費の見直し、財源の確保等、経営基盤の強化に努めます。



広聴広報活動の充実・啓発活動の推進

「社協だより」などにより地域福祉情報の提供に努めます。また、ホームページ等の活用による情報発信に努め、各種団体の会議や行事の場での広報・啓発活動も行います。



身延社協HP
<http://www.minobushakyo.jp/>

ボランティア活動の推進と社会参加の促進

ボランティア活動のすそ野を広げ、講座、講演会等の場づくりを進めます。

また、新しい福祉の活力を取り入れていくため、町内大学等との連携を図ります。災害ボランティアセンターは、ボランティア組織以外にも公募による登録制を取り入れ、設置運営の研修を開催します。

権利擁護事業及び援護事業の充実

認知症高齢者や知的・精神障がい者の方々が自立した日常生活を営めるよう日常生活自立支援事業を展開します。また、生活困窮者の自立支援を目的に県社協とも連携して、各種貸付制度の充実に努めます。



相談事業の充実

「心配ごと相談所」を町内3箇所で定期的に開設します。また「弁護士による無料法律相談」を年6回行い、専門的見地による相談事業の環境を充実します。



共同募金事業の推進

地域福祉の向上を図るために募金活動を推進し、皆様に事業の取り組みの成果が見える形でご理解いただけるように努めます。



町受託事業の充実

数々の福祉事業を受託していることから、事業現場における利用者等の声を聞きます。

さらに、目的が達成されているか町とともに検証し、より充実した事業の実施に努めます。

- ・生きがい活動支援通所事業
- ・配食サービス事業
- ・男性料理教室
- ・ホームヘルプサービス事業等

在宅福祉・介護保険等による事業の推進

町の包括支援センターと連携し、事業ごとにサービス提供の需要と他事業所の供給量を考慮する中で、事業の効率化と経営改善に取り組んでいきます。



地域福祉事業の推進

地域福祉事業の推進のため、関係団体や小中学校に講師の派遣や助成を行います。

また、さまざまな団体と連携して地域福祉の課題を解決していくための諸事業を推進していきます。

